



帯広市立広野小学校

平成 30 年度 I

学校改善プラン①

～ 確かな学力 ～

教育目標

ふるさとを愛し 夢を拓く 広野の子 ○学びを生かす子 ○未知に挑む子 ○共に創る子

今年度の重点

ひろがる 広野！

～知徳体のハーモニーを奏でよう

社会に開かれた教育課程のマネジメント

総合的な学習の時間の単元構成 国語科「文学的文章」を窓口にした深い学び 複式指導法の研究

I C T 環境を整備した学びのマネジメント

タブレット整備による学びの個別化 I C T 活用による「つながる力」の育成

期間

平成 3 0 年 4 月 1 日～平成 3 0 年 7 月 2 5 日

実態

各種調査等から

三者評価から

(矢印は前回比)

国 語

算 数

他教科等

学習状況

個に応じた指導

学習規律の定着

家庭学習の定着

■「語彙力」「言語力」に課題がある。
■文章から必要な情報を読み取ることに課題がある。
■作文や意見文など「書くこと」に課題がある。

■数や量などの感覚が育っていない。
■文章が多い問題は苦手。
■グラフなど資料の読み取りに課題がある。

■文章の意図を読み取り考えをまとめることに課題がある。
■記述して回答することに課題がある。
■図やイラスト、グラフを関連付けてみることに課題がある。

■学習規律は全校統一され、全校児童に身につけてきている。
■家庭学習の習慣づけは果たせたが、時間は十分ではない。また、家庭学習時間の少なさ・質の向上も課題

児 童：3.6→
保護者：3.0→
学 校：3.1↑

■苦手単元の把握と克服のための細かな指導についてさらに充実させたい。

児 童：3.6↑
保護者：3.5→
学 校：3.3↑

■学習用具等の定着は見られる。学習方法の定着もさらに充実させたい。

児 童：3.8→
保護者：3.6↑
学 校：3.8↑

■時間と内容についての検証と改善が必要である。

改善の方策

授業改善

- 国語科を中心に、**学びの「広野スタイル」**をもとに豊かな表現を身につけます。
- 定着するまで繰り返し指導**を徹底し、個に応じた指導でつまづきを確実に克服します。

学習環境整備

- 学習規律を徹底し、6年間の一貫した指導**をします。
- I C T 環境を整え**、「つながる」学びを推進します。
- 自主的に学ぶ環境**を整えます。

家庭・地域との連携

- 家庭学習のシステム化を徹底**し、全校統一して取り組みます。
- 家庭学習や学習の様子について**八千代中学校と交流し、情報を共有**します。

月別到達目標

授業改善

数値目標

学習環境整備

数値目標

家庭・地域との連携

数値目標

4 月

「広野スタイル」の確認。
全国学力学習調査の分析と授業改善。

3.5

学習規律の徹底。「もしり」の定着。

3.5

家庭学習の量の向上（①～④までの取り組み）

3.5

5 月

「広野スタイル」の確認。
CRT テストの分析と授業改善。

3.5

学習規律の徹底。「もしり」の定着。

3.5

家庭学習の量の向上（①～④までの取り組み）

3.5

6 月

語彙力を高めることを意識した授業づくり。

3.6

学習意欲を高める環境整備（広野っ子学びチャレンジ）

3.6

家庭学習の質の向上

3.6

7 月

語彙力を高めることを意識した授業づくり。

3.6

学習意欲を高める環境整備（広野っ子学びチャレンジ）

3.6

家庭学習の量の向上（①～④までの取り組み）
中学校との授業交流

3.6

評価

「子どもの姿（変容）」で成果を示す

★月別実態調査（月末に児童へのアンケート、グラフにて結果の掲示） ★外部評価（保護者（参観日）、指導主事訪問等でのアンケート） ★CRT、全国学力・学習状況調査、など



帯広市立広野小学校

平成 30 年度 I

学校改善プラン② ～豊かな心・健やかな体～

教育目

ふるさとを愛し 夢を拓く 広野の子 ○学びを生かす子 ○未知に挑む子 ○共に創る子

年度の重点

ひろがる 広野！

～知徳体のハーモニーを奏でよう

豊かな心を育てる教育課程のマネジメント

道徳の質的転換 キャリア教育の推進 いじめ防止の組織

健やかな体をつくる教育課程のマネジメント

「体チャレンジ」のデータ活用と継続 災害への訓練や対応 食育の推進 エリアファミリーの充実

期

平成 3 0 年 4 月 1 日～平成 3 0 年 7 月 2 5 日

実態

「豊かな心の育成」の今年度の重点 (矢印は前回比)

あいさつ・返事

児 童：3.9↑
保護者：3.4→
学 校：3.9↑

思いやりの心を育む指導の充実

児 童：3.7↑
保護者：3.5→
学 校：3.1↑

仲間づくりの充実

児 童：3.7↓
保護者：3.5→
学 校：3.9↑

■全員で挨拶をする場面はもちろん、お客さんへのあいさつなど、場面に合わせた指導が必要である。

■高学年の下級生に対する優しさや、対応が素晴らしい。上級生をお手本にするという良き風土をさらに充実させたい。

■人数は少ないが、学級に対する所属感などをツールを活用して把握するなど、生徒指導を充実する必要がある。

「健やかな体の育成」の今年度の重点 (矢印は前回比)

よい姿勢

児 童：3.0↓
保護者：3.4→
学 校：3.3↑

新体力テスト

	握力	上体	長座	反復	シャ	50m	立幅	ソフ	8種平均
全校男子平均	7.2	8.2	7.4	7.5	6.8	6	6.5	6.4	7
全校女子平均	6.4	7.9	7.3	7.4	6.2	5	6	6.5	6.6

■定着の意識が低いようである。子どもに自信を与えながら日常的な声かけ、指導の継続が必要である。

■男女とも、反復横跳び、上体起こしの得点が高い。どちらの種目もバドミントンの運動特性に関わる部分も多いと考える。
■男女とも、50m走、シャトルランの得点が高い

改善の方策

日常指導・授業等の充実

- あいさつ、返事、後片付けの指導を徹底します。
- 思いやりの心や規範意識、命を大切にする豊かな心を育てます。

家庭・地域との連携

- あいさつについて、保護者に啓発します。
- 保護者との情報交換を密にします。

日常指導・授業等の充実

- 体育の授業において、脚力を鍛える運動を取り入れます。
- 立腰の定着に向けて、1日1回声かけをします。

家庭・地域との連携

- 早寝・早起き・朝ご飯について、保護者に啓発します。
- 保育所、中学校と連携し、エリアファミリーを機能させて、八広の日の取り組みを充実させます。

月別到達目標

	日常指導・授業等の充実	数値目標	家庭・地域との連携	数値目標		日常指導・授業等の充実	数値目標	家庭・地域との連携	数値目標
4月	目をみて、挨拶ができるようにする。	3.5	家庭・地域と連携し挨拶を指導する。	3.5	4月	授業中の姿勢に気を付けさせる。	3.5	家庭・地域にも姿勢について啓発する。	3.5
5月	目をみて笑顔で気持ちよい挨拶ができるようにする。	3.5	児童が気持ちよい挨拶をできるように家庭を啓発し、地域と連携する。	3.5	5月	立腰を意識させ、授業中の姿勢に気を付けさせる。	3.5	家庭・地域にも、立腰や姿勢について啓発する。	3.5
6月	道徳の授業等を通して、正しい判断と責任ある行動ができるようにする。	3.6	「新しい道徳」を家庭・地域で活用し、責任ある行動を意識づける。	3.6	6月	脚力トレーニングや体力づくりに積極的に取り組ませる。	3.6	家庭・地域とも連携して、柔軟運動や体力づくりに取り組ませる。	3.6
7月	道徳の授業等を通して、正しい判断と責任ある行動ができるようにする。	3.6	「新しい道徳」を家庭・地域で活用し、責任ある行動を意識づける。	3.6	7月	体力の向上を意識させ、脚力トレーニングや体力づくりに積極的に取り組ませる。	3.6	家庭・地域とも連携して、柔軟運動や体力づくりに取り組ませる。	3.6

評価

「子どもの姿（変容）」で成果を示す

★月別実態調査（月末に児童へのアンケート、グラフにて結果の掲示） ★外部評価（保護者（参観日）、指導主事訪問等でのアンケート） ★いじめ調査（文科、帯広市、校内）など

「子どもの姿（変容）」で成果を示す

★月別実態調査（月末に児童へのアンケート、グラフにて結果の掲示） ★外部評価（保護者（参観日）、指導主事訪問等でのアンケート） ★新体力テスト、全国体力・運動能力運動習慣等調査 など